

「最高値銘柄・最安値銘柄の数を調べる方法」

最高値、最安値をつけた銘柄数をグラフで表示する方法を解説します。

最高値（最安値）といってもそれぞれ何を持っての最高値（最安値）なのかという基準が必要です。

今年に入っての新値の事を意味するのか、過去一年間の最高値なのかといった事です。

ここでは、ある期間内で今日が最高値（最安値）であったものを調べます。

その期間内の高値（安値）を更新し続ければ、数はカウントされます。

最高値をつけている銘柄が増加し続けある時、ピーク打ちとなったら天井。最安値をつけている銘柄が増加しピークを打ったら底打ち。と思いつきますが、実際そうなのかを調べてみます。

J P分析シートを使います。今回は、週足を採用します。

まずその前に、個別銘柄のみの銘柄群を作成します。ETF、リートは除くため。

その方法は、「絞り込み検索」を使います。

■個別銘柄のみの銘柄群（ユーザー銘柄シート）を作成

6 1. 検索対象銘柄選択から「全銘柄」を選択します。



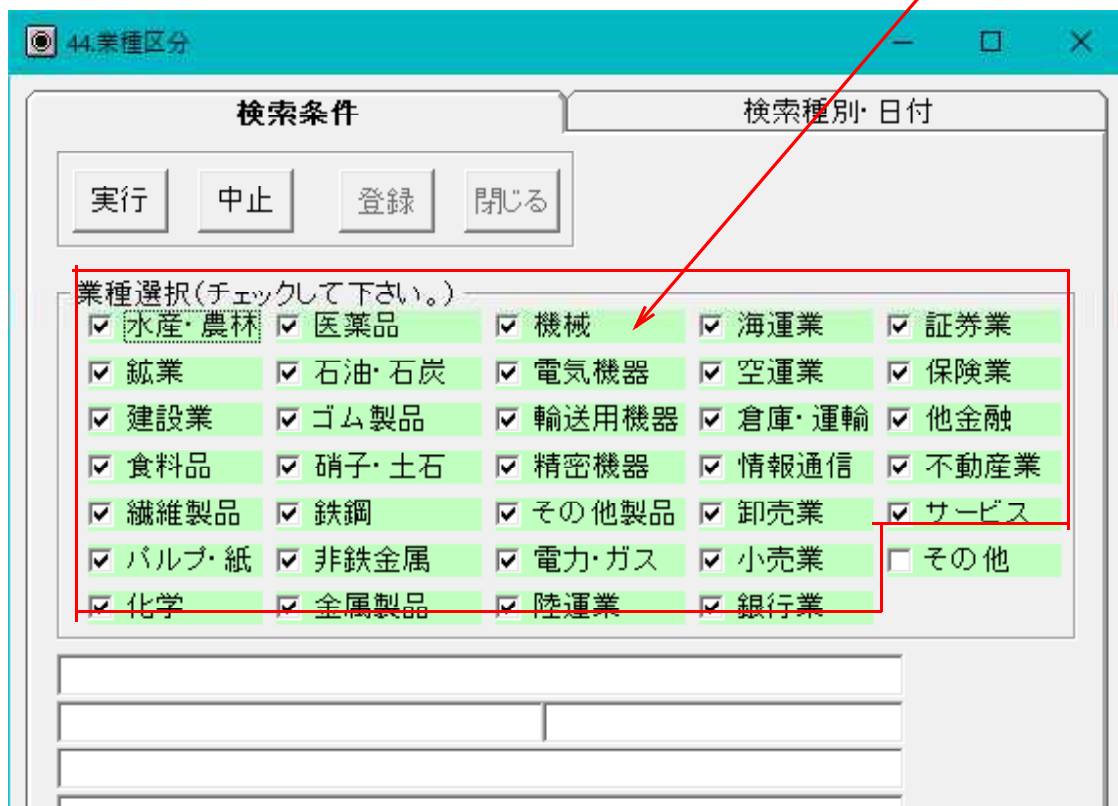
次に、上場廃止銘柄を取り除くため、今日、株価が「0」円でない銘柄を検索します。

6. 株価指定を使います。



個別銘柄のみにするため、ETF、リートは除きます。「その他」以外を全て選択

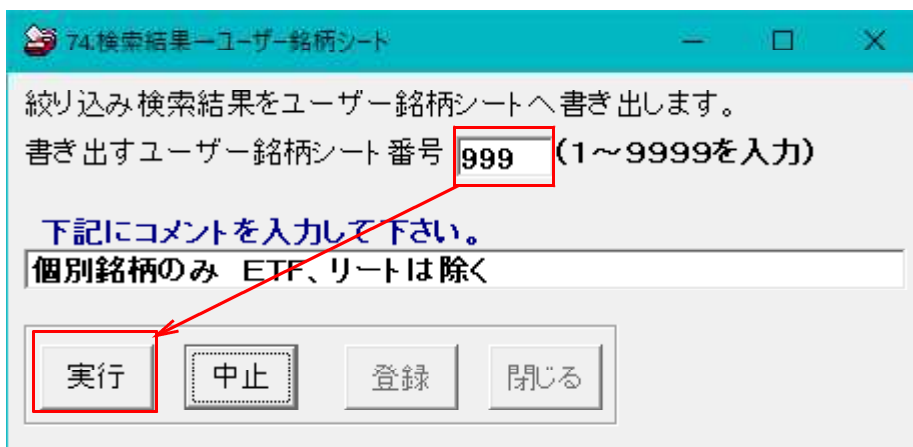
4.4. 業種区分を使います。



これで今、上場している個別銘柄だけになりました。

これらの銘柄を「ユーザー銘柄管理」へ保存します。

7 4. 検索結果→ユーザー銘柄シートを使います。今回は999番に保存します。



■JPシートを作る

今日が最高値というシートを作ります。今回は、過去半年間の内で今週が最高値であるという内容にします。

最高値も同じく期間は半年とします。

週足で半年なので、数値は26を使います。26週間＝半年と数えます。

217番シート 最高値銘柄を知るシート

コメント		過去半年間の最高値																			
短期弾性値	以上	出来高倍率	以下	最高値・最高値	周期	出来高水準	周期														
短期弾性値	以下	最大出来高	周期	最高値/最高値	以上	出来高水準	以上														
中期弾性値	以上	最大出来高か?		最高値/最高値	以下	短中M間カイリ	以上														
中期弾性値	以下	短弾	向き	最高値・最高値	周期	MACD①(4-20)	向き														
長期弾性値	以上	中弾	向き	最高値/最高値	以上	MACD②(5-20)	向き														
長期弾性値	以下	長弾	向き	最高値/最高値	以下	短M/中M	位置														
MAV指標	以上	MAV	向き	最高値	周期	生中弾/中弾	位置														
MAV指標	以下	短期M	向き	最高値/最高値	以上	生中弾/長弾	位置														
短期M指標	以上	中期M	向き	最高値/最高値	以下	株価水準	以上														
短期M指標	以下	生短弾	向き	最高値	周期	株価水準	以下														
中期M指標	以上	生中弾	向き	最高値/最高値	以上																
中期M指標	以下	生中弾	向き	最高値/最高値	以下																
生短弾性値	以上	生短弾	向き	最高値/最高値	以上	長コスト	前日安値	以上													
生短弾性値	以下	生短弾	向き	最高値/最高値	以下	長コスト	前日安値	以下													
生中弾性値	以上	長コスト	向き	最高値/最高値	以上	長コスト	前日高値	以上													
生中弾性値	以下	短/長コスト	位置	最高値/最高値	以下	長コスト	前日高値	以下													
生中弾性値	以上	短コスト上・下抜け		最高値/最高値	以上	生短弾/短弾	位置														
生中弾性値	以下	長コスト上・下抜け		最高値/最高値	以下	終値/高値	以上														
生中弾性値	以上	短長DC後日柄	以上	最高値/最高値	以上	終値/高値	以下														
生中弾性値	以下	短長DC後日柄	以下	最高値/最高値	以下	終値/高値	以上														
最高値 周期		短長GC後日柄	以上	最高値/最高値	以上	終値/安値	以上														
最高値比率	以上	短長GC後日柄	以下	最高値/最高値	以下	終値/安値	以下														
最高値比率	以下	短弾/中弾	位置	最高値/最高値	以上	新値	周期														
最高値日柄	以上	中弾/長弾	位置	最高値/最高値	以下	安値更新本数	以上														
最高値日柄	以下	短弾/長弾	位置	最高値/最高値	以上	安値更新本数	以下														
最高値 周期		陽線・陰線?		最高値/最高値	以上	高値更新本数	以上														
最高値比率	以上	高値切り上・下がり		最高値/最高値	以下	高値更新本数	以下														
最高値比率	以下	安値切り上・下がり		最高値/最高値	以上	足取り・5本設定															
最高値日柄	以上	RJ指数	以上	最高値/最高値	以上	ハイ・ローバンド	周期														
最高値日柄	以下	RJ指数	以下	最高値/最高値	以下	ハイ・ローバンド	向き														
出来高倍率	周期	RJ指数	向き	最高値/最高値	以上	短中M間カイリ	以下														
出来高倍率	以上			最高値/最高値	以下																

拡大します。

最高値 周期	26
最高値比率 以上	
最高値比率 以下	
最高値日柄 以上	0
最高値日柄 以下	0
山頂高倍率 周期	

218番シート 最安値銘柄を知るシート

J/P法分析シート 週足用 218番

コメント 過去半年間の最安値

短期弾性値 以上	出来高倍率 以下	最高値・最安値 周期	出来高水準 周期
短期弾性値 以下	最大出来高 周期	最高値/最安値 以上	出来高水準 以上
中期弾性値 以上	最大出来高か?	最高値/最安値 以下	短中M間カイリ 以上
中期弾性値 以下	短弾 向き	最安値・最高値 周期	MACD①(4-20) 向き
長期弾性値 以上	中弾 向き	最安値/最高値 以上	MACD②(5-20) 向き
長期弾性値 以下	長弾 向き	最安値/最高値 以下	短M/中M 位置
MAV指標 以上	MAV 向き	最高値 周期	生中弾/中弾 位置
MAV指標 以下	短期M 向き	最高値/安値 以上	生長弾/長弾 位置
短期M指標 以上	中期M 向き	最高値/安値 以下	株価水準 以上
短期M指標 以下	生短弾 向き	最安値 周期	株価水準 以下
中期M指標 以上	生中弾 向き	最安値/高値 以上	
中期M指標 以下	生長弾 向き	最安値/高値 以下	
生短弾性値 以上	短コスト 向き	長コスト/前日安値 以上	
生短弾性値 以下	長コスト 向き	長コスト/前日安値 以下	
生中弾性値 以上	短/長コスト 位置	長コスト/前日高値 以上	
生中弾性値 以下	短コスト上/下抜け	長コスト/前日高値 以下	
生長弾性値 以上	長コスト上/下抜け	生短弾/短弾 位置	
生長弾性値 以下	短長DC後日柄 以上	終値/高値 以上	
最安値 周期	短長DC後日柄 以下	終値/高値 以下	
最安値比率 以上	短長GC後日柄 以上	終値/安値 以上	
最安値比率 以下	短長GC後日柄 以下	終値/安値 以下	
最安値日柄 以上	短弾/中弾 位置	新値 周期	
最安値日柄 以下	中弾/長弾 位置	安値更新本数 以上	
最高値 周期	短弾/長弾 位置	安値更新本数 以下	
最高値比率 以上	陽線・陰線?	高値更新本数 以上	
最高値比率 以下	高値切り上/下がり	高値更新本数 以下	
最高値日柄 以上	安値切り上/下がり	足取り・5本設定	
最高値日柄 以下	RJ指数 以上	ハイ・ローバンド 周期	
出来高倍率 周期	RJ指数 以下	ハイ・ローバンド 向き	
出来高倍率 以上	RJ指数 向き	短中M間カイリ 以下	

拡大します。

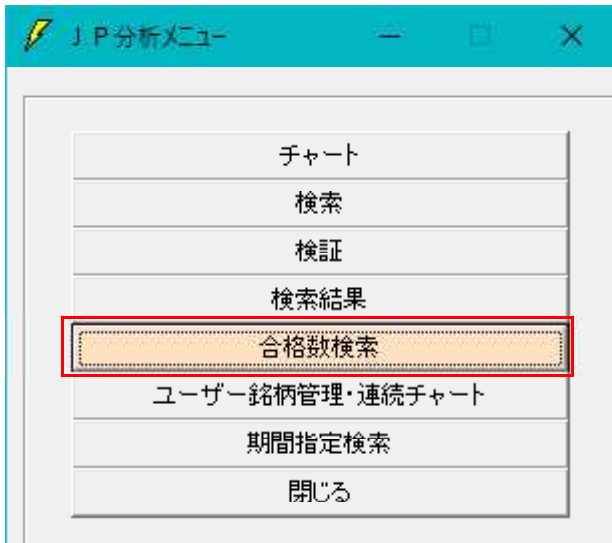
最安値 周期	26
最安値比率 以上	
最安値比率 以下	
最安値日柄 以上	0
最安値日柄 以下	0
最高値 周期	

217番に最高値を、218番に最安値を知るシートをつくります。

周期は「26」です。

日柄が「0」という事は、最高値（最安値）から経過している日数が「0」日、つまり今日が最高値（最安値）という事です。

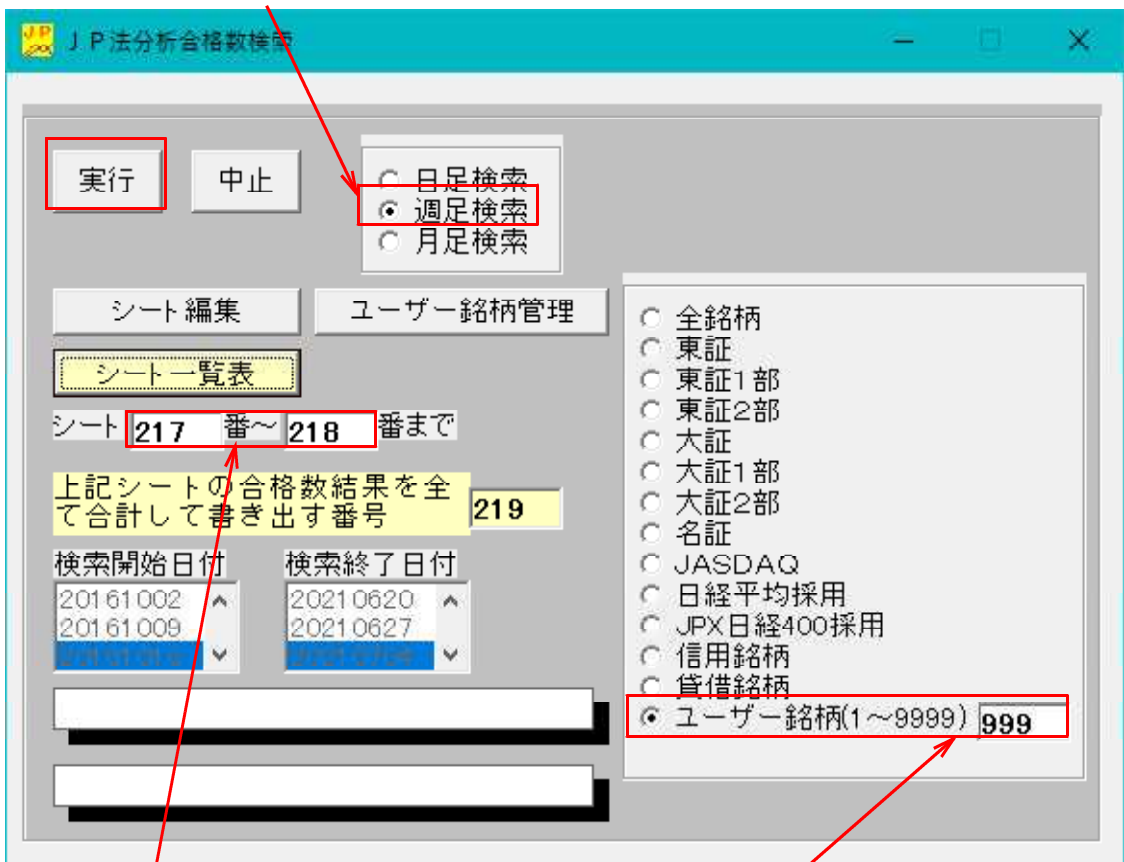
次は、数をカウントするため「合格数検索」を実行します。



■合格数検索

下記のように設定して「実行」をクリックします。

今回は「週足」です。



個別銘柄のみ、999番を使います。

シートは先に作成した番号を入力します。

■合格数を表示させる

「合格数検索」が終了すると画面が消えますので、今度は「チャート」から日経平均の週足チャートを表示させます。

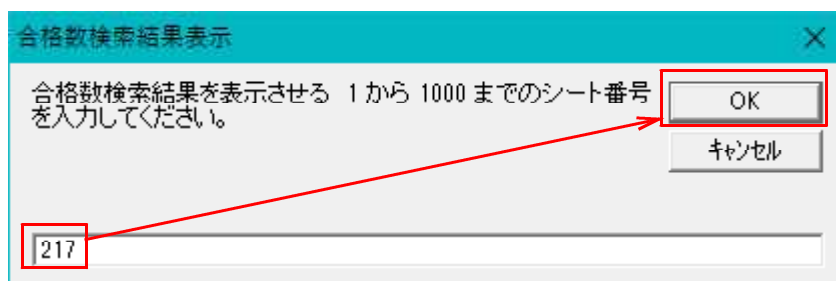
そして、下記のようにクリックしていき、



※ここでは合格数そのものを表示させます。割合である%で見たい場合は、「%表示」をクリックして下さい。

まずは、最高値銘柄数を調べます。

シート番号は217です。



このように表示されます。チャート下に表示されているのが最高値銘柄数です。



数が多く出ている日に縦バーを表示させてみます。



2020/10/04

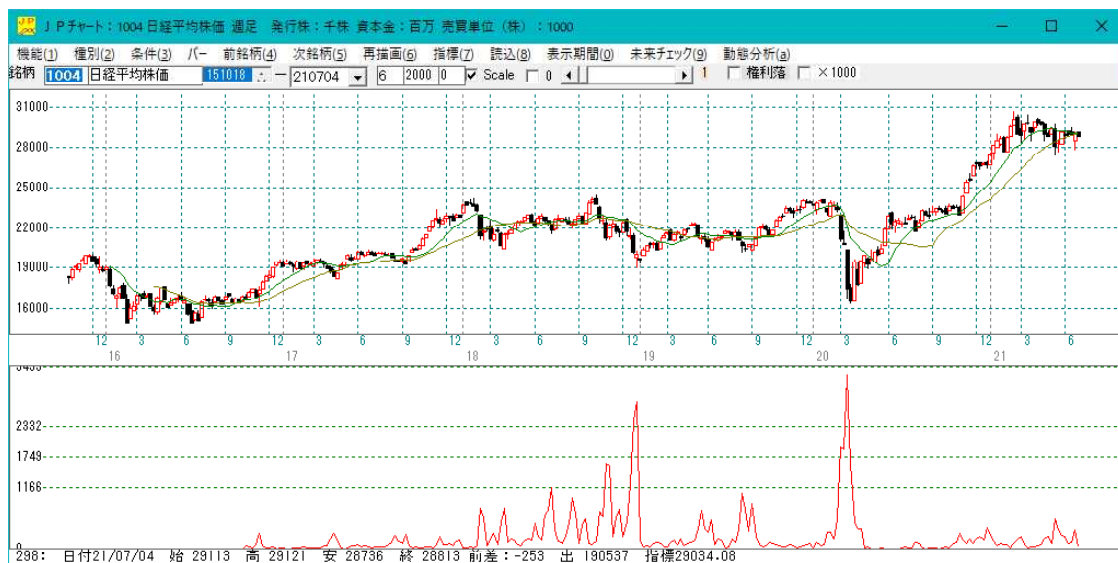
日経平均との比較では、やや早めに最高値をつけた銘柄がピークを迎え、それから保ち合いか、もう一段上がります。

ただし、2020/10/04 の場合は別です。ここで個別銘柄の最高値数はピークをつけたが、米大統領選で相場は大きく上に舵を取りました。

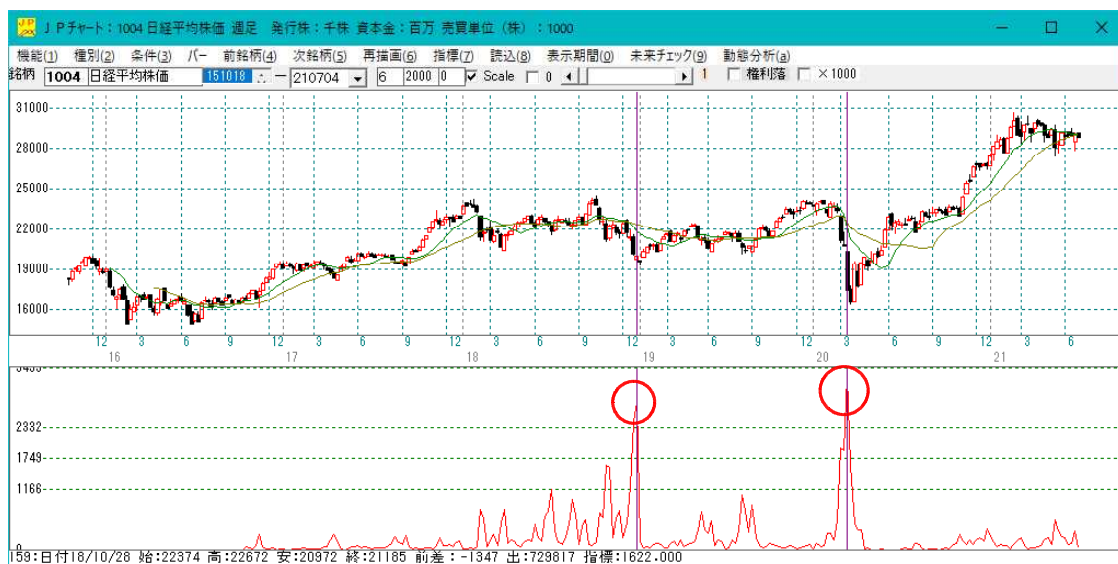
この上昇は、全体相場が上昇に向かったのではなく、よくいわれている 225 採用銘柄のうち、値がさ株のみが相場を引っ張ったという事です。

蚊帳の外の銘柄を買っていた場合、利益は期待したほどなかったのではないのでしょうか。

続いて最安値銘柄のグラフを表示させてみます。



特に数が多い日に縦バーを表示させてみます。



見事に底を捉えています。

このグラフの突出は、相場が下がり出すと我先にと投げ売りが入って、値がさの優良株だろうが、関係なく売られるという事です。もちろん信用の担保不足から、切らざるを得ない場合も多々ある事でしょう。

大幅下落での投げ売りは危機を感じた、人の本能でもありますからいつのパターンでも同じです。

このように、天井圏の判断は最高値銘柄数では、判明しにくい事があります。それに近いタイミングは分かりますが。しかし、底を当てるなら、この方法は有効といえます。

では、日経 225 銘柄のみのグラフをみてみましょう。

まずは、合格数検索で「日経平均採用」を選択し「実行」です。

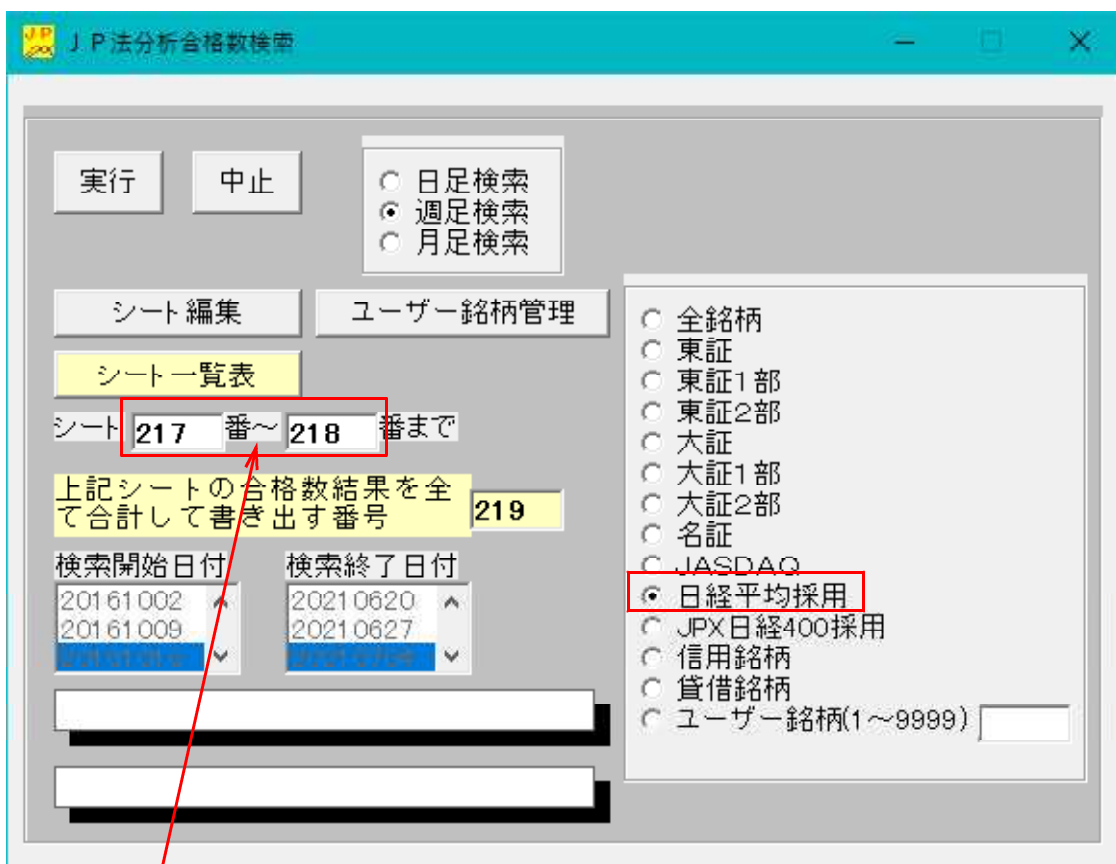
ここでは、個別銘柄と同じ 217、218 番を使いますが、先の個別銘柄のグラフを残したい場合は、別なシート番号に最高値（最安値）銘柄数を調べるシートを作成します。

例えば、219 番に最高値銘柄数を、220 番に最安値銘柄数を調べるシートを作ります。

そして、合格数検索では、219-220 を使います。

※合格数検索で保存されるデータは、シート番号単位で管理しています。

そのため、下記のように 217-218 を使うと個別銘柄のデータが日経 225 採用のものに上書きされます。



先のデータ（グラフ表示）を残したい場合は、シート番号を変更する事。
※シート内容は同じ。

日経225採用のみ 最高値銘柄数グラフ



数が多い日に縦バーを表示



2021年に入ってから、最高値銘柄数のピークが3回あります。

一番最後のピークは、2021/03/21です。ここから数は激減しますが、日経平均は下がらず。

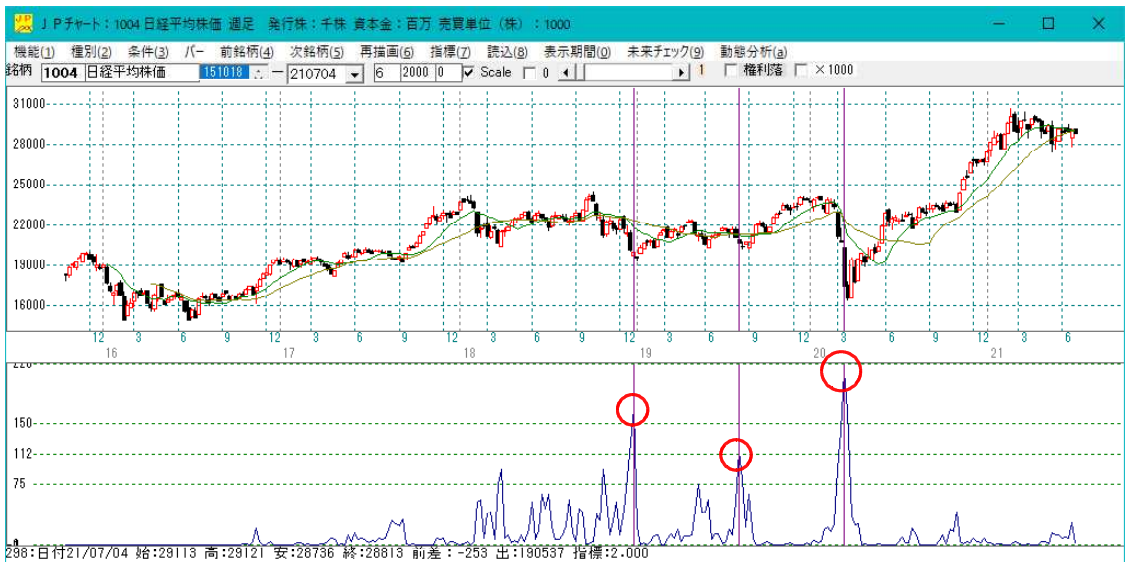
225採用銘柄にとっては、最高値は更新しないものの、過去と比較して大きな下げにはなっていないのでしょうか。

このグラフをみても、天井圏を知るにはずれがあります。

日経225採用のみ 最安値銘柄数グラフ



数が多い日に縦バーを表示



下げの場合は、個別銘柄の時と同様に底が判明。

最安値銘柄数の増加で相場の底は知る事が出来ます。

今回は、週足で半年の最高値（最安値）としましたが、三ヶ月がよければ周期を13、一年なら52を使います。

J P 2 0 0 0 ソフトユーザー様は、日足でもお試し下さい。2 0 0 0 日ありますから、ある程度過去へ遡って調べる事が出来ます。この場合、一ヶ月なら20、三ヶ月なら60を使って下さい。一年なら200です。